

事例1

京都大学やエコ〜るど京大



大学や大学生も頑張っています！

6つのグッドマークが
つきました



！この事例の注目点！

継続した
事業です

プラスチックの
削減なども
念頭に置いて
います

魚介類の
地産地消を
促しています

多くのメディア
(TVや新聞、
雑誌等)に
紹介されました

他のSDGsに
関連する
プロジェクトとも
連携しています

担当者の
メッセージ



未来の子供たちに健康な海を残すこと。それは私たちに、人と人と、人と環境とのつながりをもたらしてくれると思います。食卓から始められる活動に加わっていただけませんか。

谷谷敬太 (京都大学法学部4回生)



「持続可能性」は、暮らしにおいても、ビジネスにおいても、世界中で、間違いなく問われる時代です。

アビヤン・アルファニ
(京都大学大学院地球環境学舎2回生)

■学内レストランで人気！ ブルーシーフードカレー

第26代京都大学総長山極壽一氏の監修のもと、セイラーズフォーザシー日本支局との連携により、エコ〜るど京大と京都大学生協は、京大総長ブルーシーフードカレーを開発。カレーはココナッツがベースで、最新のBSGから、3種類程度のお魚を選び、可能な限り地元産のものを調達しています。2017年1月の発売より、カフェレストラン「カンフォーラ」の人気メニューに！



■ブルーシーフードカレーをロックフェラー夫妻とともに

2015年12月、セイラーズフォーザシー代表デイヴィッド・ロックフェラー・ジュニアとスーザン夫人が京都大学を訪れ、学生や教員を対象とした素晴らしい講演を行いました。講演後、参加者約200人とともに、京大生協が特別に作ったブルーシーフードカレーを味わいました。これが好評で、総長カレー開発のきっかけになりました。



■ブルーシーフードカレーの缶詰

2019年5月、(株)カンブライの協力で、BSGと海洋環境問題についての意識向上を図るため、初めてブルーシーフードカレー缶詰を製造。次の3種類の3缶セットです。京大生協などで発売していますので、個性があり、いろいろな食べ方が楽しめるカレーをぜひご賞味ください！



●カツオのトマトカレー
(産地:宮城県 漁法:一本釣り)

●カキのココナッツカレー
(産地:宮城県 漁法:養殖)

●ワカメのキーマカレー
(産地:日本国内)

■毎年恒例のBSGレクチャー

セイラーズフォーザシー日本支局の井植美奈子さんに、京都大学にて、国内外の海洋保全問題とブルーシーフードについて毎年講演していただいています。

事例2

マクセルホールディングス(株) maxell

Within the Future

企業も頑張っています！

5つのグッドマークがつきました



！この事例の注目点！

ソーシャル
メディアを
十二分に活用
しています

大企業としては
初めての
試みです

継続して
プログラムを
改善しています

担当者の
メッセージ



SDGsの取り組みのひとつとして、日常生活や食事等に接点があることは、従業員の意識向上にもつながり、啓発活動になると実感しています。このような取り組みは継続することが重要であり、身近なところから、自分ができると思えるところから始めていけばよいと考えています。

理事 ブランド戦略・広報IR部 小原 寛

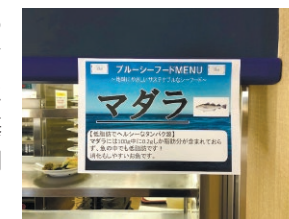
■企業として署名し、 積極的に取り組み展開

2018年、マクセルはブルーシーフードパートナーに加盟し、同社の社員食堂や製品にBSGや海洋保全のコンセプトを積極的に取り入れています。



■マクセルの社員食堂

社員食堂は、月曜日から金曜日まで毎日営業しています。メニューは週ごと月ごとに変わり、BSGを基に、独自のメニューを展開しています。



マダラのメニュー

ブルーシーフードパートナー、マクセルの社員食堂のランチメニューのひとつ、バターと醤油を使ったマダラのムニエルはたった300円！サステイナブルかつリーズナブルなメニューです。

■驚きのLEDランタン 「ミズシオン」を販売

「ミズシオン」は海水と同じ濃度の塩水で発電し、電池不要なので、災害時や野外活動に最適です。



事例3

さかなクン

5つのグッドマークがつきました



個人でも頑張っています！

！この事例の注目点！

個人の知名度と
BSGの独創的な
組み合わせです

さらに他の
インフルエンサーを
巻き込むことで広がり
を生み出しています

国内の
メディアに
紹介されました



■ギョギョ魚(ギョ)!!!展2019と海洋アート2018



2018年、さかなクンはイギリス人ポップアーティスト、フィリップ・コルバート氏と日動画廊にてライブペインティングを行い、「Happy Sea」と題した作品は、美術界だけでなく多分野の方々の好評を得ました。また、同画廊にて2019年に開催された「ギョギョ魚(ギョ)!!!展」では“海のフォトブース”や“おさかな解説”などの内容が盛り込まれ、子供から大人まで、たくさんの方の入場者でにぎわいました。

これらのイベントにおける売り上げの一部はセイラーズフォーザシー日本支局を通じて海洋保全活動のために寄付されました。会場では、BSGのリーフレットが配架されたほか、記念イベントでは、BSGを基にしたメニューがふるまわれました。他のインフルエンサーの支援や協力もあり、大成功のうちに終わりました。

